

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-18



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者の要望で始めた「東京都にある大学の学食めぐり」です。最近是一般の人も食べられる学食が増えています。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。東京 23 区の学食をめぐっていますが、近くの大学を見落としていました。今回は新宿区にある二つの大学の学食めぐりです。メニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。最寄り駅は代表例です。

〔東京理科大学〕 新宿区神楽坂 1-3

最寄駅 JR 総武線 飯田橋駅

理数系が苦手だった寅次郎でしたが、次女がお世話になった大学です。大学の前は歩きましたが、中に入るのは初めてです。大学の公式サイトには『明治 14 年（1881 年）東京帝国大学卒業間もない（1～3 回生）若者 19 名と学生博士他 2 名が理学の普及をめざし「東京理学講習所」を創立、2 年後に「東京物理学校」と改称されました。当時は自由民権運動が盛んな時期で政・経・法の教育の研究が活発の一方、理学が軽んじられる傾向がありました。そこで創始者たちは「理学の普及を以って国運を発展の基礎とする」との建学の精神を掲げ、理学の普及運動を推進しました。その結果多くの卒業生が中等学校や師範学校の教壇に立ち、理学の普及に大きな役割を果たしました。大学の創立以来、真に実力を身に付けた学生だけを卒業させる「実力主義」の伝統は今日まで引き継がれています。昭和 24 年（1949 年）東京理科大学と改組、現在は 8 学部 34 学科、11 専攻を擁する我が国私学随一の理工系総合大学に発展しました』と記載。

「神楽坂」の地名は神楽の音が響く街からついたともいわれる花街、今でも粋な雰囲気を感じられる小路が残っています。坂を上らずに江戸城外濠に面した外堀通り沿いにある神楽坂キャンパス（本部）を訪問しました。通り沿いに 9 号館、7 号館、1 号館、後ろには 3 号館、8 号館、2 号館、6 号館の校舎が並びます。



写真上は 9 号館



写真上は 7 号館

1 号館の前に「坊ちゃんの塔」のモニュメント（写真下左）があります。説明板には『夏目漱石の小説「坊ちゃん」の主人公が本学の前身の東京物理学校を卒業し、数学教師として四国松山の中学校に赴任した反俗精神にあふれた熱血教師として描かれています。』

明治時代から「坊ちゃん」のような人間味あふれた実力のある理数系教師を多数輩出し、理学の普及に果たした役割を更に未来に継承していくことを期して、平成 26 年 3 月 31 日に建設されました。幾何学的な形状は鏡映対称な一対の五面体「ペンタドロン」を最小単位の「個」として、それらを組み合わせて構成されています。うねるように上昇する姿は未来への強いエネルギーや叡智ある人々の無限の可能性を表している』と記載。難しく良くわかりません。



モニュメントのある1号館（写真上左）の角を右折すると東京理科大学「近代科学資料館」（写真上右）があり、計算機や録音技術の歴史が展示されています。入場無料です。

学食は8号館にあります。校舎内の間を歩いて行けますが、外堀通りではなく、「神楽坂」を少し上り、左手にあるタイ焼き屋さんを左折すると8号館の入口（写真下左）に出ます。



写真上右は学食入口とメニュー棚です。
選んで食券を購入します。



写真左の定食B（メンチカツ）420円を選択。
定食は380～480円、
カレーは280～450円
麺類は280～480円
がありました。

1Fが定食、丼、2Fが麺類、B1Fが軽食です。

〔工学院大学〕 新宿区西新宿 1-24-2

最寄駅 JR線 新宿駅西口

普段、乗り降りに利用している新宿駅のすぐ近くの高層ビル街にありました。西口の小田急線側の地下道（角は明治安田生命）を都庁方面に歩くと、左手に新宿キャンパス B1 入口（写真下）があります。



大学公式サイトには『明治 20 年（1887 年）帝国大学総長 浜口 洪基を中心に「工手学校」創立協議会が開催（この年が創立年）「工手学校」とは産業の近代化達成のために不足していた現場を支える職工を育成する「職工学校」のことで、日本最古の工業実業学校です。昭和 3 年（1928 年）工学院と改称、昭和 19 年（1944 年）工学院工業専門学校開校、昭和 24 年（1949 年）工学院大学となりました。平成元年（1989 年）高層ビルの新宿キャンパスが完成。大学専用的高層ビル（地上 29 階、地下 5 階）は日本初とのこと。開校以来、産業界を支える専門的な技術者を育成、現在は工学、情報学、建築学、先進工学部の 4 学部の工科系総合大学。建築学部は平成 23 年（2011 年）工学部建築学科を改編した日本初の建築学部とのこと。新宿キャンパスは 3～4 年生が主で 1～2 年生は八王子キャンパスでキャンパス間の専用バスあります』と記載。



写真上左は 1F からの正面入口（高層階なので最上階は霞んでいます）、写真上右は裏からの入口（前は中層階で後ろに高層階があります）

学食は 7F（写真下左）で、営業時間は 11 時 30 分～14 時。



写真上右の日替わり麺（ミートソース）390 円を選択、食券を購入して指定カウンターに並びます。他のメニューは日替わり定食 450 円、ハンバーグ 520 円、うどん・そば 230～390 円、カレー 300～460 円がありました。新宿駅近くでのランチに使えますね。

今回は 東京の学食めぐり-19 です。

平野 寅次郎 拝